

「北極圏鉄道紀行 (1)」

今回、私が一番楽しみにしていたのが、北極圏を走る急行列車に乗ることでした。しかし、オーロラ生中継カメラの設置・設定を優先したので、結局乗ることができませんでした。過去に何度か乗ったことがあるので、今回乗った友人の写真を借りて、鉄道紀行にまとめてみることにしました。従って、まるで今回も私が「乗った」ように書きますが、実は乗っていません。

.....\*\*\*\*\*.....

今回乗車した、スウェーデン北部の鉄道は、スウェーデン国鉄 (S J) が所有しています。もちろん S J の車両が一番多いですが、ほかにも “Norrtåg” (ノル・トグ=北方電車) という会社の列車も運行しています。時刻表を見ると、よくわかります。

今回乗車したのは 94 列車で、ストックホルムから直通の “Natttåg” (夜行列車) の「なれの果て」です。従って、一等寝台や食堂車も連結した、昔のブルートレイン「あさかぜ」のような豪華な編成です。



「イェリバーレ駅の駅舎」美しく立派な駅です。しかし、午前8時なのに、まだ真っ暗です。

時刻表では、非常に本数が多く見えますが、運航日によるちがいを全部載せているので、実際は最大でも、一日5~6往復です。

**30** Luleå - Boden - Kiruna - Narvik

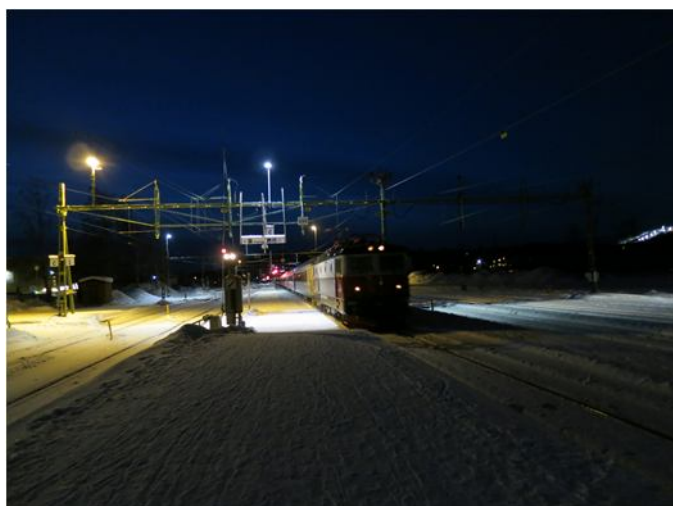
Övriga tåg Luleå-Boden tab 40

13 dec 2015-10 dec 2016	Sj ②	Sj Natt ②	Sj Natt ②	Norrtåg ②	Norrtåg ②	Sj ②	Sj Natt ②	Sj Natt ②	Sj IC ②	Norrtåg ②	Norrtåg ②	Norrtåg ②	Norrtåg ②	
Tågnummer	10094	10094	94	7150	17150	90	90	92	96	7152	17152	7154	17154	
Period	13/12-25/7 3/10-10/12	14/12-22/7 4/10-9/12	13/12-23/7 2/10-10/12	14/12-19/8	20/8-10/12	25/7-2/10	24/7-1/10			13/12-19/8	21/8-9/12	13/12-19/8	20/8-10/12	
Dagar	Dagl	M-F	L,SoH	M-L	M-L	Dagl	Dagl	Dagl	Dagl	M-F,SoH	M-F,SoH	Dagl	Dagl	
km	Går även / Går ej	①	④	⑤	⑦			⑨		⑪	⑫	⑬	⑭	
0 fr	Stockholm C	15.59	16.28					17.56	22.40					
182 fr	Gävle C	18.19	18.41					19.51	0.30					
	fr Sundsvall C	21.36	21.36					22.42	3.13					
852 fr	Umeå C	1.11	1.11					3.32	7.08					
t	Boden C	5.25	5.25					7.45	11.04					
1201 fr	Luleå C	4.55			6.27	6.27	7.15			11.07	12.18	12.18	16.35	16.35
1206 fr	Notviken				6.31	6.31					12.25	12.25	16.40	16.40
1215 fr	Sunderby sjukhus	5.13			6.38	6.38	7.30			11.19	12.32	12.32	16.49	16.49
1237 t	Boden C	5.28			6.54	6.54	7.50			11.32	12.47	12.47	17.02	17.02
1237 fr	Boden C	5.44	5.44	5.44	6.55	6.55	8.04	8.04		11.37	12.49	12.49	17.04	17.04
1324 fr	Murjek	7.03	7.03	7.03	8.01	8.01	9.10	9.10		12.38	13.43	13.43	17.56	17.56
t	Jokkmokk				9.55					13.55				
1357 fr	Nattavaara	7.34	7.34	7.34	8.27	8.27	9.40	9.40		13.14	14.10	14.10	18.21	18.21
1405 t	Gällivare	8.15	8.15	8.15	8.58	8.58	10.25	10.25		13.56	14.40	14.40	19.00	19.00
t	Kebnats	10.20	10.20	10.20										
1405 fr	Gällivare	8.15	8.15	8.15	8.59	8.59	10.25	10.25		13.56	14.42	14.42	19.02	19.02
1463 fr	Fjällåsen												19.53	19.53
1466 fr	Kaitum												19.57	19.57
1477 fr	Sjisjka												20.03	20.03
1505 t	Kiruna	9.31	9.31	9.31	10.03	10.03	11.40	11.40		15.09	15.56	15.56	20.24	20.24
t	Nikkaluokta													
1505 fr	Kiruna	9.49	9.49	9.49			11.58	11.58		15.27				
1598 fr	Abisko Östra	10.52	10.52	10.52			13.01	13.01		16.41				
1600 fr	Abisko turiststn	10.58	10.58	10.58			13.08	13.08		16.47				
1607 fr	Björkliden	11.08	11.08	11.08			13.18	13.18		16.56				
1624 fr	Läktatjåkka									17.12				
1627 fr	Vassijaure									17.17				
1631 fr	Katterjåkk	11.46	11.46	11.46			13.42	13.42		17.25				
1634 t	Riksgränsen	11.52	11.52	11.52			13.49	13.49		17.29				
1634 fr	Riksgränsen	11.52	11.52	11.52			13.49	13.49		17.29				
1636 fr	Björnfjell									17.37				
1641 fr	Sösterbekk									17.43				
1647 fr	Katterat	12.09	12.09	12.09			14.06	14.06		17.51				
1656 fr	Rombak									18.03				
1674 t	Narvik stn	12.36	12.36	12.36			14.38	14.38		18.22				

右図が、今回乗車した区間の路線図です。スウェーデンのイエリバーレ (Gällivare) から、ノルウェーのナルビク (Narvik) までの約 270km の区間です。旅客列車は少ないですが、この区間の最大の「顧客」は「鉄鉱石」です。

イエリバーレにも、途中のキルナ (Kiruna) にも、鉄鉱石の鉱山がたくさんあります。それも、露天掘りの大規模なもので、良質のスウェーデン鋼の原料になっています。スウェーデンは北海側に領土を持たないので、長大な貨物列車で、ノルウェーの港町ナルビクまで運搬しているわけです。

超重量の貨物列車に耐えるために、極めて強固な路盤と線路を使って建設されています。機関車も桁違いのパワー、もちろん全線電化されています。そんなわけで、旅客列車はいわば「おまけ」みたいな存在ですが、変化に富んだ景観を楽しめるので、旅行者には大変人気があります。今回乗ったのは、全区間北極圏内に入っています。



イエリバーレ駅に列車が来ました。ストックホルムから一晩かけて、走ってきた列車です。この日は $-6^{\circ}\text{C}$ と、冬の北極圏にしては比較的暖かい日でしたが、時には $-40^{\circ}\text{C}$ 以下になることもあります。それでも、ほぼ定時運行を保っているからスゴイです。



大きな荷物を持ったお客さんが、列車に乗り込みます。日本とちがって、プラットフォームは低く、乗車口にはステップがついています。

キルナまでの区間乗客、アイスホテルに行く人、アビスコのホテルでオーロラを楽しむ人、・・・乗車目的はいろいろです。この列車は、終点ナルビクに着くと、3時間ほどで折り返し、日帰りで戻って来られるので、列車が好きな旅行者には大変便利なダイヤです。普通の急行列車とはいえ、国境を越える「国際列車」。パスポートの携行は忘れずに！ (つづく)